

授業概要

心理療法のさまざまな理論やアプローチ、心理療法の入門的な知識を講義する。

心理療法とは、臨床心理学の知見をもとに、こころの問題に関連する心身の問題や症状を改善しようとする方法の総称である。心理療法にはさまざまな学派、方法論があるが、本講義では、力動的アプローチ、人間関係中心のアプローチ、問題解決的アプローチなど、代表的な方法に関する基本的な知識を講義する。

授業計画

| | |
|------|----------------------------------|
| 第1回 | 心理療法とは |
| 第2回 | 心理療法の枠組み：インテーク、アセスメント、治療契約、中断、終結 |
| 第3回 | 心理療法の理論と方法論1：来談者中心アプローチ |
| 第4回 | 心理療法の理論と方法論2：精神分析的アプローチ |
| 第5回 | 心理療法の理論と方法論3：行動療法 |
| 第6回 | 心理療法の理論と方法論4：ゲシュタルト療法 |
| 第7回 | 心理療法の理論と方法論5：家族療法 |
| 第8回 | 心理療法の理論と方法論6：プリーフセラピー |
| 第9回 | 心理療法の理論と方法論7：森田療法 |
| 第10回 | 心理療法の理論と方法論8：内観療法 |
| 第11回 | 心理療法の理論と方法論9：分析心理学 |
| 第12回 | 子どものセラピー1：遊戯療法と児童分析 |
| 第13回 | 子どものセラピー2：療育的支援 |
| 第14回 | 心理療法の応用的展開1：災害時の心理的支援 |
| 第15回 | 心理療法の応用的展開2：親子の心理的支援 |
| 第16回 | 試験（筆記） |

到達目標

- 心理療法の基本的枠組みを説明することができる。
- 各種心理療法の差異を明確に説明することができる。
- 心理療法をする者の基本的な心構えについて、自分の考えをもつ。

履修上の注意

授業内では体験などの演習的内容を含むため、他の履修性と協調し、積極的な取り組みを期待する。

予習・復習

予習) 次回授業に関連した文献に目を通す。

復習) 授業内容の振り返りとともに関連文献を参照することによって知識の定着を図る。

評価方法

授業参加態度（積極性、主体性、意欲）50%、試験 50%

テキスト

使用しない。適宜資料を配布する。